

中小企業景況調査(2016年1月) 要約版

[概況] 中小企業の売上げDIは、プラス
売上げ見通しDIは、20カ月連続でプラス

1 売上げ

2016年1月の売上げDIは、前月(▲0.6)から3.4ポイント上昇し、2.8となった。

今後3カ月(1月~3月)の売上げ見通しDIは、前月(7.5)から1.9ポイント上昇し、9.4となった。プラスは20カ月連続である。

2 利益

利益額DIは、前月(4.9)から2.3ポイント上昇し、7.2となった。

3 価格、雇用、生産設備

販売価格DIは、前月(▲3.8)から0.7ポイント低下し、▲4.5となった。

仕入価格DIは、前月(0.7)から4.8ポイント低下し、▲4.1となった。マイナスとなるのは、2012年11月(▲2.7)以来である。

従業員判断DIは、前月(6.1)から0.1ポイント低下し、6.0となった。

生産設備判断DIは、前月(▲5.5)から0.7ポイント低下し、▲6.2となった。

※調査の全文につきましては、[こちら](#)をご覧ください。

＜調査の要領＞	調査時点	2016年1月中旬
	調査対象	三大都市圏の当公庫取引先900社(首都圏454社、中京圏142社、近畿圏304社)
	有効回答企業数	592社
	回答率	65.8%

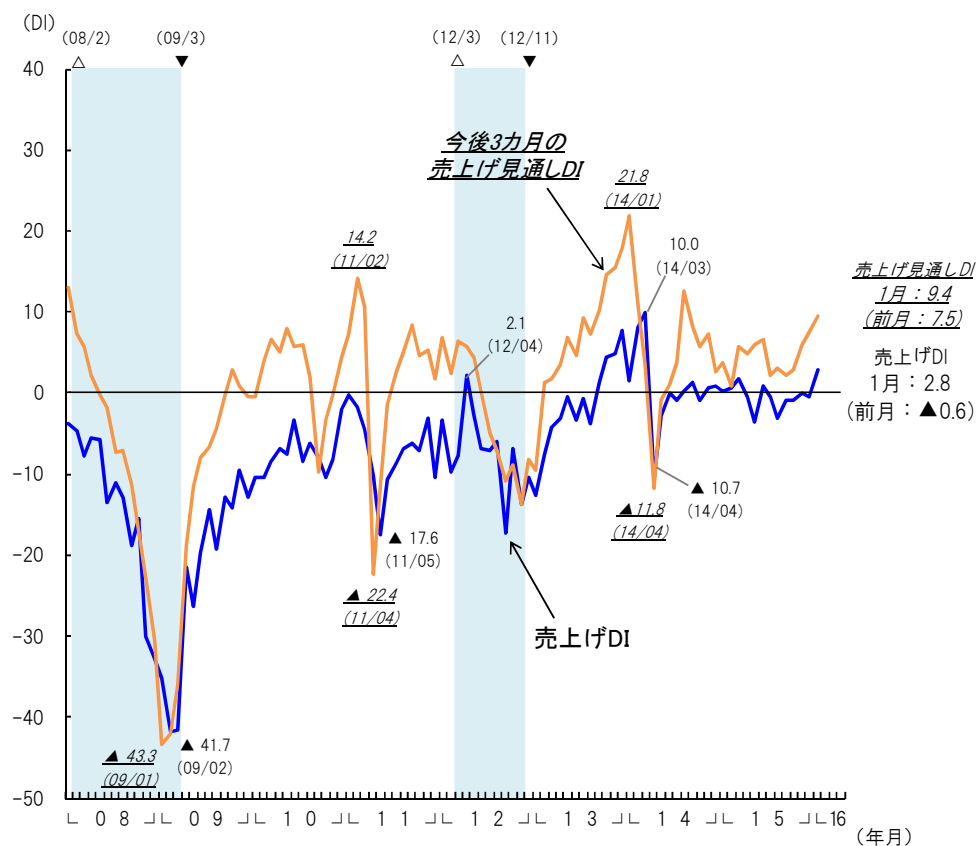
＜お問い合わせ先＞

日本政策金融公庫 総合研究所 中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1704(担当:江連、神谷)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティノースタワー

本資料は日本銀行内金融記者クラブ、経済研究会(内閣府)に同時配布しております。

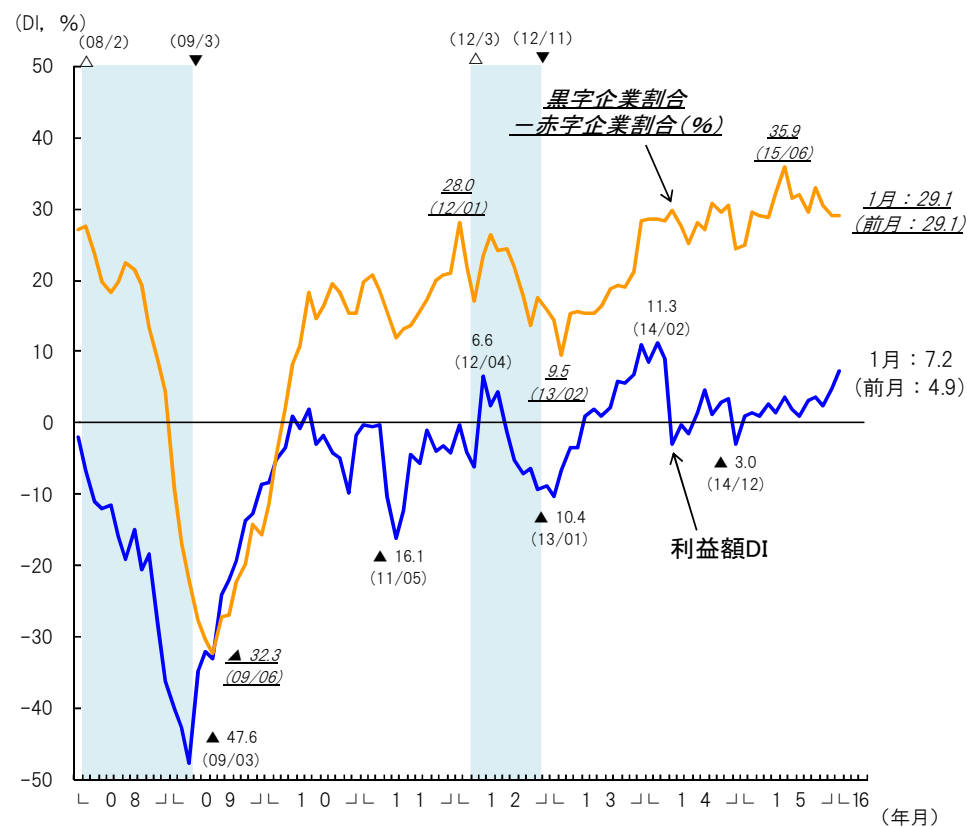
- 売上げDI(「増加」-「減少」)は、2.8と、前月(▲0.6)から3.4ポイント上昇した。
- 売上げ見通しDI(「増加」-「減少」)は、9.4と、前月(7.5)から1.9ポイント上昇した。
- 利益額DI(「増加」-「減少」)は、7.2と、前月(4.9)から2.3ポイント上昇した。
- 黒字企業割合-赤字企業割合は、29.1と、前月(29.1)から横ばいとなった。

図-1 売上げ及び売上げ見通しの動向



- (注) 1 売上げDIは前月比で「増加」-「減少」企業割合(季節調整値)。
 2 今後3カ月の売上げ見通しDIは過去3カ月の実績比で「増加」-「減少」企業割合(季節調整値)。
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す(以下同じ)。
 4 今月調査において、季節調整値の改訂を実施した(以下同じ)。

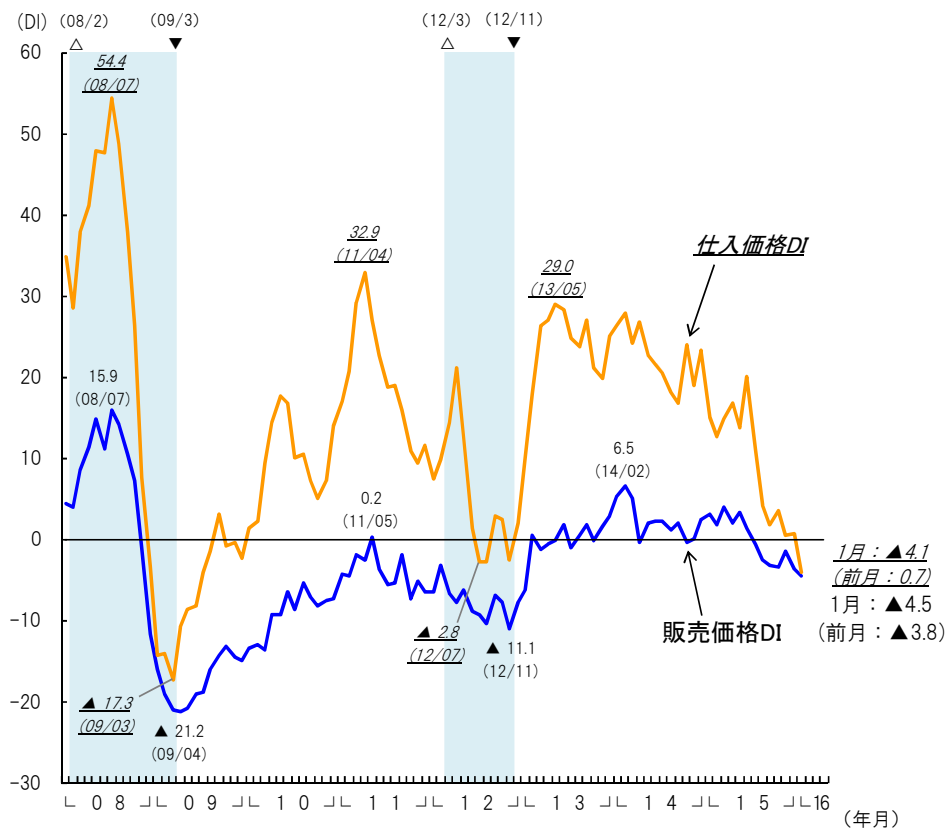
図-2 利益の動向



- (注) 1 利益額DIは前月比で「増加」-「減少」企業割合(季節調整値)。
 2 黒字および赤字の判断については最近3カ月の実績による(季節調整値)。

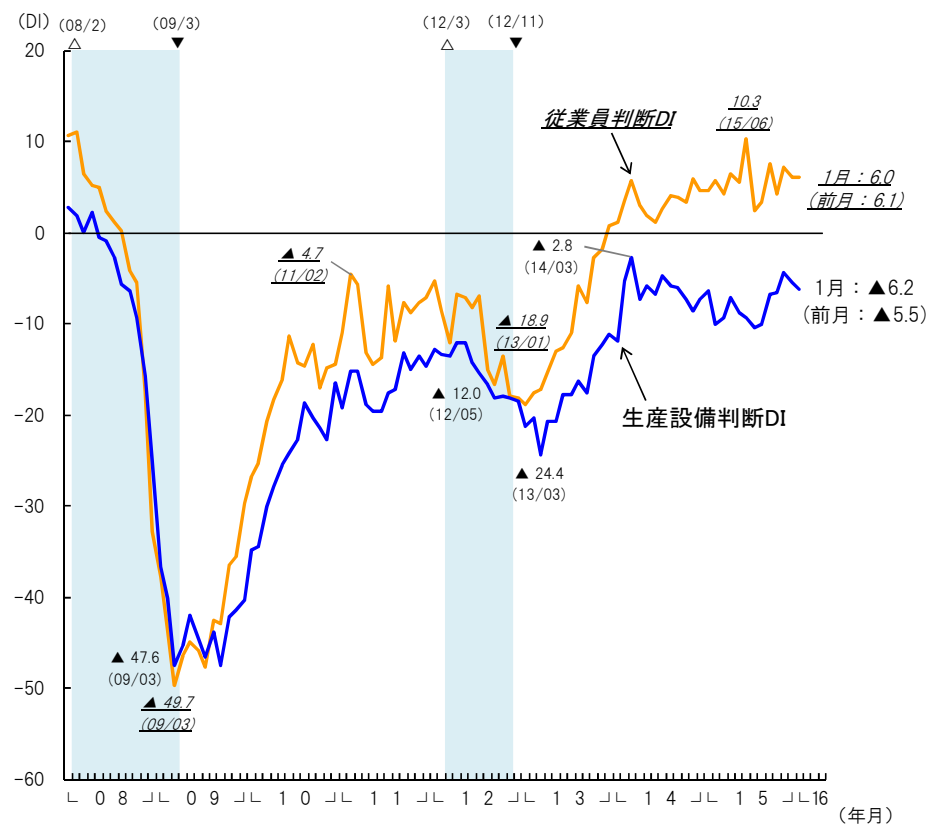
- 販売価格DI(「上昇」-「低下」)は、▲4.5と、前月(▲3.8)から0.7ポイント低下した。
- 仕入価格DI(「上昇」-「低下」)は、▲4.1と、前月(0.7)から4.8ポイント低下した。
- 従業員判断DI(「不足」-「過剰」)は、6.0と、前月(6.1)から0.1ポイント低下した。
- 生産設備判断DI(「不足」-「過剰」)は、▲6.2と、前月(▲5.5)から0.7ポイント低下した。

図-3 販売価格、仕入価格の推移



(注) 1 販売価格DIは前月比で「上昇」-「低下」企業割合。
2 仕入価格DIは前月比で「上昇」-「低下」企業割合。

図-4 従業員状況、生産設備の判断

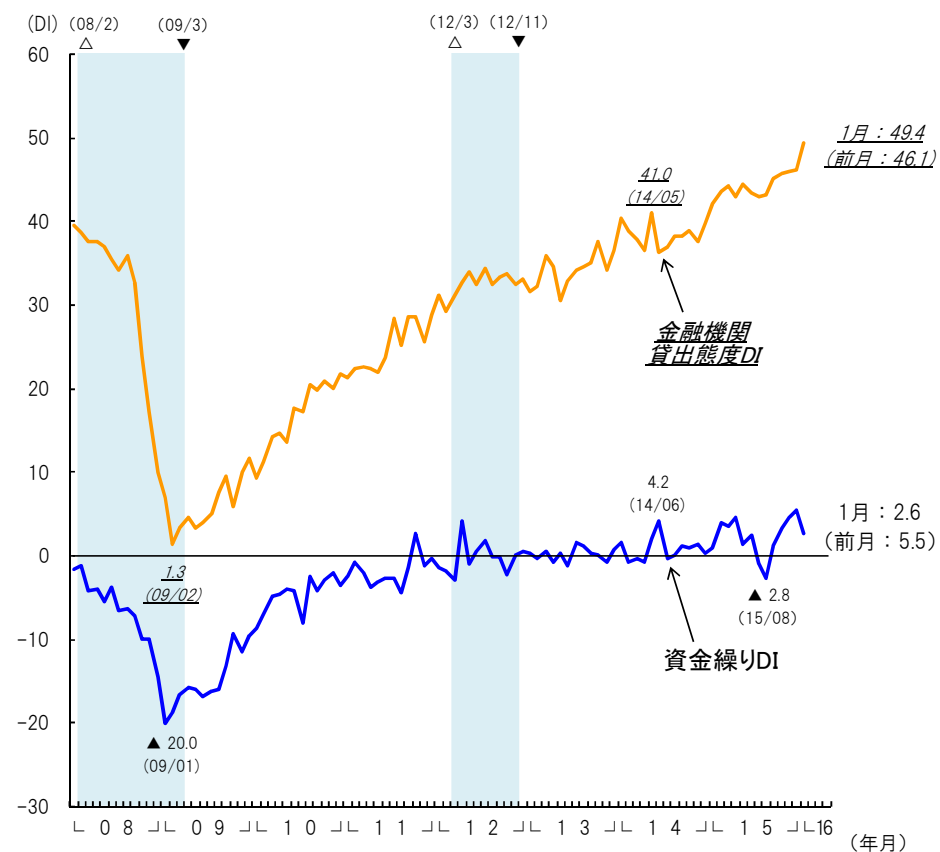


(注) 1 製造業の数値。
2 従業員判断DIは「不足」-「過剰」企業割合(季節調整値)。
3 生産設備判断DIは「不足」-「過剰」企業割合(季節調整値)。

○資金繰りDI(「余裕」-「窮屈」)は、2.6と、前月(5.5)から2.9ポイント低下した。

○金融機関貸出態度DI(「緩和」-「厳しい」)は、49.4と、前月(46.1)から3.3ポイント上昇した。

図-5 資金繰り状況と金融機関貸出態度



(注) 1 資金繰りDIは「余裕」-「窮屈」企業割合(季節調整値)。
2 金融機関貸出態度DIは「緩和」-「厳しい」企業割合。